

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



グループ対抗里山デジカメ選手権

～最終審査会を開催し入選作品を決定～

今年度も「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマとして、グループによる3枚の組写真を募集したところ、東は東京都、西は広島県までの15都府県から、学校、ボランティア団体、企業・家族等のグループの作品が65組、195枚寄せられ、10月3日に近畿中国森林管理局において、写真家の今森光彦氏による一次審査を行い、30組の作品を選抜しました。

また、10月28日(日)には、最終審査会を京都市梅小路公園「緑の館」において、公開で開催しました。当日は今森氏、農学博士の只木良也氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏を審査員に迎え、前川 泰一郎局長も審査に加わり、30組の代表から、スクリーンに映し出された作品の前にメッセージを発表してもらい、最優秀賞1点、里山賞1点、優秀賞7点に、審査員特別賞1点を加え、計10点の入選作品を決定しました。



会場にて30グループの作品を展示



前川局長が開会の挨拶



グループの代表がメッセージを発表



表彰式 優秀賞の授与

グループ対抗里山デジカメ選手権入選作品

○最優秀賞

【森林・林業活動部門】

タイトル：「森とあそぶ」

グループ：トヨタの森A（愛知県豊田市）

大原満枝 原田秋男 原田敬子



○里山賞

【学校部門】

タイトル：「明るい森に」

グループ：京都府立北桑田高等学校C班（京都府京都市）

岩崎夢乃 中井悠 藤原菜世



優秀賞

①【一般部門】タイトル：「偶然の出会い」

グループ：箕面大好き親子（大阪府箕面市）

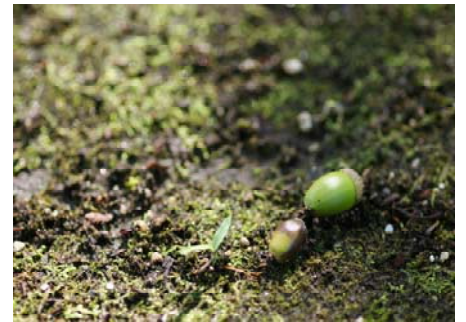
川部由美子 川部一雄



②【一般部門】タイトル：「秋の里山」

グループ：特許調査部（東京都大田区）

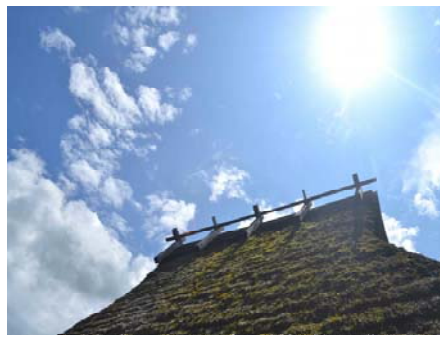
鈴木聡 今永直子



③【一般部門】タイトル：ミッション！ SATOYAMA『里山ってわかるかな』

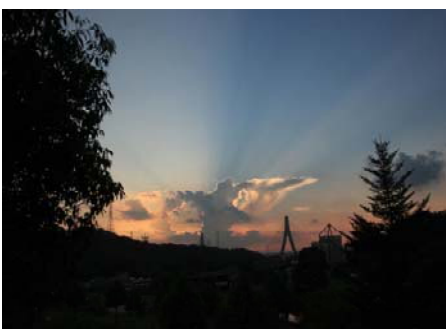
グループ：写ベスト1（大阪府高槻市）

須賀修平 中川卓



④【森林・林業活動部門】タイトル：「森は眠らない」 グループ：トヨタの森B（愛知県豊田市）

川田菜穂子 杉山時雄 伊吹あゆみ



⑤【森林・林業活動部門】タイトル：「ちびっ子探検隊の大発見」

グループ：NPO法人 やまぼうし自然学校（長野県上田市）

佐藤明希 西澤純子 瑞慶覧明子



⑥【学校部門】タイトル：「里山で生きている」

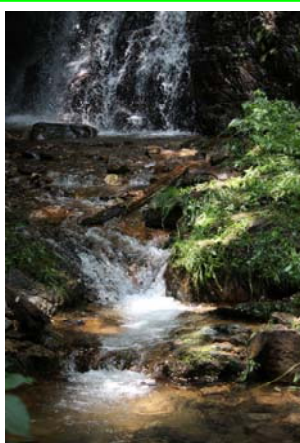
グループ：岡山県立高梁城南高等学校チームA（岡山県高梁市） 藤澤遥 福田絵理



⑦【学校部門】タイトル：「木漏れ日」

グループ：広島県立庄原格致高等学校Fチーム（広島県庄原市）

平田滉 須応僚哉 西村陸斗



審査員特別賞

【学校部門】「大原にふりそそぐ光」

グループ：京都大原学院 大原っ子！（京都府京都市）

伊東里紗 後藤未沙



「水都大阪森林の市2012」

～「水源の森」ジオラマづくり教室～

10月7日(日)に近畿中国森林管理局(大阪市北区)で開催された「水都おおさか森林の市2012」に当センターとして自然素材の木の皮や枝、水苔などを使う「水源の森」ジオラマづくりの教室を実施しました。

順番待ちの列ができ予想を上回る人気となりましたが、参加者は、受け入れ可能な35名(小学生28名、大人8名)となりました。

作り始める前に、水源の森をイメージしてもらうために、森林が保水した雨水が徐々にしみ出し、集まって川となり、飲料水、生活用水などに恩恵を受けていることをパネルを使って説明しました。

子どもと一緒に大人の方も熱が入り黙々と作り、各自思い思い「水源の森」が出来上がりました。

作品を持ち帰った後も、水源としての森林の大切さに思いを巡らせて、具体的な行動につながっていくことを願っています。



水源の森についての説明



板に地面(木の皮)を付ける作業



地面に森(枝や水苔)を付ける作業



水源の森の完成

大阪市立都島中学校チャレンジ体験

～職場体験学習の実施～



クヌギなどの広葉樹を植え付けているところ



クヌギのポット苗を作成（ポットに根の出た種子を播種）



「水源の森」ジオラマの作成

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、大阪市立都島中学校の「職場体験学習」の依頼を受け、11月8日と9日に、中学生5名を受け入れ職場体験を実施しました。

1日目の午後、箕面の国有林で、クヌギなどの広葉樹の植栽と、クヌギのポット苗づくりに取り組みました。皆さん体育会系のクラブに属しているため、山での作業にも疲れた様子もなく無事終わることが出来ました。クヌギのポット苗は、皆さん持ち帰り育ててくれるそうです。

苗が生長したら、持ってきて、また植えてくれるでしょうか？ 楽しみにしましょう。

2日目の午後、「水源の森」ジオラマづくりに取り組みました。作成に夢中となり、終了時間をかなりオーバーして、終了しました。

箕面国有林の植物紹介

オオバヤナギ (学名: *Toisusu urbaniana* Kimura)

箕面国有林内に、オオバヤナギが2本生育しています。大きさは、胸の高さの幹周りが、167cmと136.5cm、樹高は、両方とも25mです。(箕面市在住鎌谷計三氏により18年前には、5本のオオバヤナギが確認されていました。)

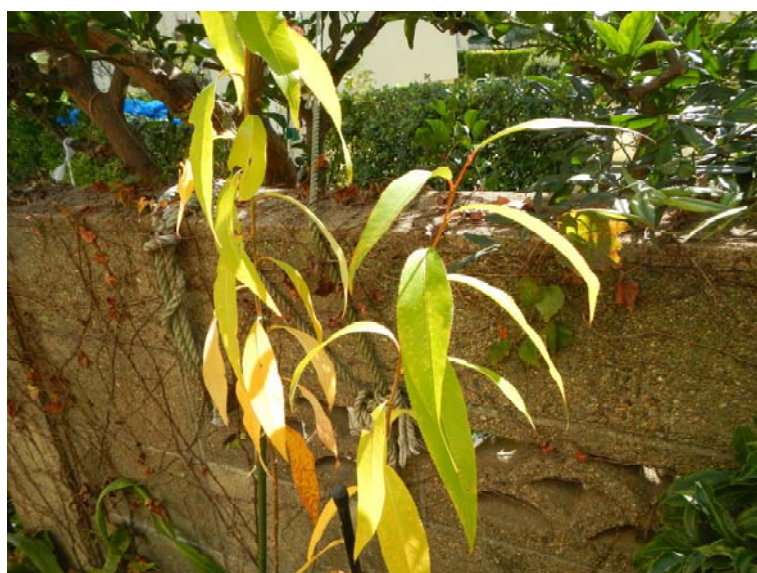
オオバヤナギは、平凡社「日本の野生植物」木本Ⅰによれば、「北海道・本州(中部以北)の産で、千島南部(国後島)に分布し、西南限は、鳥取県大山。ふつう河畔に生える。」とされています。

落葉の高木で、高さ30m、径1m以上になるそうです。

本種が、寒冷な地域に分布していることから、日本が寒冷な気候であったころ、箕面の山にも広く分布していたと考えられますが、気候が温暖化し、分布域が北上し、箕面の山に孤立した個体が残ったと考えられます。

本種の現在の生育地は、人工林の中の小沢で、2本しかありません。たぶん、人工林となる前は、オオバヤナギが、かなり生育していたと推測されますが、すべて伐採された時期に、種子から発芽したオオバヤナギが数本成長し、2本が残ったものと推測されます。

箕面一帯は、暖温帯に属していますが、寒冷な地域に分布しているナナカマドなども群生しており、興味が尽きません。



箕面 国有林とその周辺の紅葉

明治の森箕面国定公園では、紅葉が始まっています。国有林では見頃を向かえています。標高の低いところは、12月上旬頃まで紅葉が楽しめます。

箕面の紅葉情報は、箕面市のホームページ等で確認してお出かけください。



お知らせ

来年2月下旬に、大阪において、ニホンジカによる森林被害への対策等に関するシンポジウムを予定しています。詳細が決まりましたら、ホームページ等でお知らせしますので、興味のある方は、御参加ください。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F



国民の森林・国有林